

広報



こじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876)2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

相続と税金

日本人の平均寿命も男七十二歳女七十七歳と延びている。しかしこれからいくらか延びたとしても、不老不死は夢のまた夢。
さて、人が亡くなると、その人が持っていた財産は、その人の子供などに引き継がれる。そのときにかかる税金、つまり死亡した人の財産を相続や遺贈によってもらったときにかかる税金が相続税である。相続税の計算は、遺産総額から非課税や用務費、償還費費財で差し引き、更に、基礎控除(二千万円と法定相続人一人当り四百万円の合計額)を引いた残りの課税遺産額に、税率をかけて税額を求める。

全町一斉清掃デー

朝四時から鼠岸まで 下山内部落

あげします



昭和47年から

「よりよい環境を求めて」来る6月5日から6月11日までの環境週間のテーマである。あまり聞きなれない週間だと思うがこれは昭和47年6月5日から2週間にわたって開かれた「国連人間環境会議」にちなんで設けられた「世界環境デー」が6月5日であるため、わが国でもこの日を初日とする1週間を「環境週間」と定めている。

公害は環境の一部

環境問題に対する私たちの関心は毎日の生活の中で否応なく高まっている。身のまわりをみると、ごみ処理の問題からし尿大気汚染(臭気)、水質汚濁、騒音など狭い意味での公害が主体となるが公害は、環境のほんの一部にすぎない。国によっては人口過剰、食糧不足、その反面人口減、食糧過剰ともなる国土の荒廃といったことが死活の人間環境の問題となっている。

つまり環境問題は、そのおかれた地理的、経済的、社会的条件によって大分質が異ってくる認識が必要なようだ。環境問題

よりよい環境を求めて

環境週間

六月五日～十一日

が大きければ大きいなりに、小さければ小さいなりに、私たちの姿勢のあり方が将来にわたってより良い環境を維持するかどうかの分け目になる。

絶えない不法投棄

この町でも環境をきれいにする運動は「日本一きれいな町づくり」をテーマに全町一斉清掃デーなどを設け、木目細かい対策をくり広げているが、河川や原野、山地に対する不法投棄はあとを絶たない。町民の自覚を待つほか対策はないのかも知れないが残念なことである。

かけがえのない地球を守る

住みよい町は経済的な基調はあるにしても、環境がいかによく科学技術との均衡を保っていくかにあるのかは論をまたないし「ひとは環境の創造物であると同時に環境の形成者である」ことを忘れず、かけがえのない地球を守っていくためにこの1週間の中でそれを少しく考えてみたいものだ。

△広報サロン▽

若い人々とも話し合い

五城目町老人クラブ連合会
会長 佐藤勝太郎



このたびはからず五城目町老人クラブ連合会長の重責を担うことになったが、クラブ員としての経験の浅い私にとつては、文字どおり重い重い責任を負うことになった。

いろいろな情報の中で必ずと言ってよい程高令者に対する問題を取りあげていることは、それだけ年を重ねた人が多くなり町や国でもおそろにできないことが多く含んでいるからだろう。私は、それは専門のみなさんにおまかせして、老人クラブ員はまず自らの健康を守ることを忘れてはならない条件だと思っている。若者と違って故障がおき易く、ちよつとの油断も出来ないものである。その上で趣味やスポーツを取りあげるなり、生きがいのある仕事をすることによっていききたいもので、身心の健康をウヤマヤにしては、マイナスこそなれ、プラスにはならないはずである。

私は長い事人権擁護委員をやっているが、昨年度の県内における、相談事項をみると、嫁が姑をいじめめる、あるいはぎやうたいするたため何とかしてほしいとするものが、九〇%を越えている。昔はその反対の場面が多かった。今昔の感にうたれる。残念ながらこの町にも結構あるので、老人クラブ員はもちろんのこと、生涯教育の場を通じて若い人々と接する機会を多く設けながら、老人の生き方について話し合いをしていきたい。若い人々が老人に生きがいと敬老の念をもつことは、まぎれもなく訪れる高齢に対する自分へのいざないでもあるからだ。

町のシンボル森山を

新観光秋田三十景に

～ 町内のみなさんから絶大なるご支援を ～

このたび秋田魁新報社で主唱している「新観光秋田三十景」は、広く県民の投票によって決定されるが、五城目町と同観光協会では町のシンボルとしてその昔から町民に親しまれてきた「森山」を、応募することに決めている。そこで町民のみなさんからは、森山が三十景以内を確保するために、絶大なご協力をあおぐことになった。

だれでも登れる山

ご承知のように森山は、標高三二五メートルで頂上まで道路があり幼ない子どもから老人まで登れて、ピクニックには格好の山である。さらに、昭和四十七年第二次林業構造改善事業の一環として、森林総合利用促進事業の指定を受け五千万円を超える事業費で、針葉樹林を中心に据えて整備し、一大自然公園化をはかっている。

町内最大のレクリエーション基地

整備された内容をみると

・整備対象面積	一二六ha	・散策路	五、八四八m
・管理塔	一棟	・林間広場	一三、〇〇〇㎡
・東屋	三棟	・駐車場	三カ所
・バンガロー	十棟	・樹木園	六四九本

などである。この整備によって森山の本格的な公園化がはかれ町内における最大のレクリエーションの基地となった。

大パノラマを展開

頂上からのながめは絶妙で、森山にいだかれるように町並みを作っている本町部を中心に、沢々から湖岸まで続く景色は文字どおり大パノラマを形づくっている。そして遠くは、森吉山や鳥海山が望まれ、西に拓ける湖東平野、夕日に映える日本海のうねり、男鹿三山のシルエットは、森山ならではの景観である。

定期的な登山者も多く

町内部落でも毎年旧盆の十四日、十五日に子ども会を中心にした登

山がさかんで、ご来光を拝む人々で頂上の広場を埋めつくす光景がみられる。それだけ町の人々にとって森山は心をなごませ、大自然を満喫させてくれる神秘的な魅力に富んでいる山であろう。

ふるさとの森山に涙する

去る昭和四十七年、下山内出身の大石喜義氏が、三十七年ぶりでブラジルからふる里五城目に足を入れた。その時車窓から望まれる森山を見て「ああようやく五城目へ帰ったという安ど感と、山をみていると今は亡き両親のことやいろいろな昔の生活が思い出されて、年がいくとなくとめどもなく涙が出て」と語っていたのが印象的であった。

森山は、町に住んでいる人も、町をはなれた人々にとっても忘れがたい心のふるさとのシンボルである事に違いはないようである。

・応募方法(例) 応募は官製ハガキで

観光地名 森山

住所 五城目町

氏名 花田 太郎

のような要領で書いて、郵便ポストに入れていただきたい。

・はがきは一人でも何枚出してもかまわない。

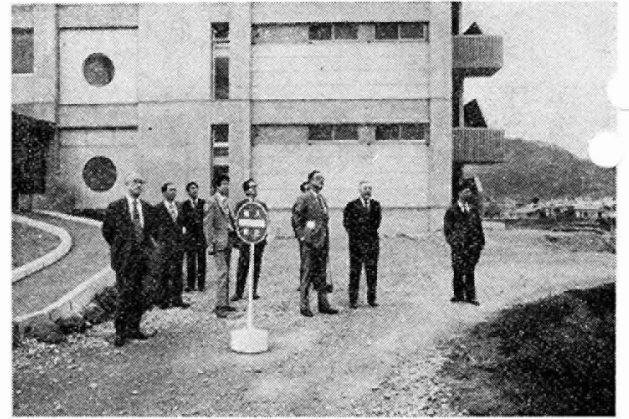
・投票先 秋田市大町一丁目二二六

・投票締切 秋田魁新報社「新観光秋田三十景」係あて
昭和五十二年六月十五日

なお投票した方には、次のような楽しみがある。

入選した三十景の投票はがき全部を抽選のうえ、一等(一人)十万円二等(二人)各五万円、三等(五人)各三万円と、五十人に記念品が贈られる。

この「新観光三十景」に当選することは、とりもなおさず、森山と五城目町が広く県民に紹介されることであり、観光客の訪れはいろいろな面から町にとって意義のあることにもなるので、重ねて、町内のみなさんから力強いご支援をお願いしたいところである。



町民センター・体育館の審査風景

B.C.S賞に入選が期待される ～センター・体育館～

全国大手四十社、建築業者で組織されている建築協会では、毎年国内のすぐれた建物を選んで表彰しているが、五十一年度の審査対象に本町の町民センター、広域体育館が、東北地方で唯一カ所選ばれ、去る五月二十日、神戸大学向井教授と、大林組窪田設計管理部長がその審査のために本町を訪れた。

当日は、加賀谷町長をはじめ、伊藤助役、佐藤企画部長、阿部館運動公園事務局長など、建設の背景と必要性、ならびにその経過利用状況などの説明に当った。

町民センター・体育館の審査風景

一方設計を担当された連合設計アクトの齊藤代表取締役は、設計するに当って、建設物の配置を、森山、馬場目川、男鹿の背景を考慮に入れ、内部の仕上げは秋田杉の特徴を生かした。

また建物の美観は屋根の美しさによって生じてくるので、屋根と壁面の一体化をはかり積雪寒冷地における機能的な配慮をし、体育

館については、採光、通風、音響床面のスプリングなど特徴のある設計をした旨説明があった。

職人の町にふさわしい建物

戸田建設の大谷所長は、施工を担当した立場から次のような説明があった。

五城目は職人の町なので、その精神をこめて作るようにと、加賀谷町長から注文があったので、町の内情をよく観察し、要望された線に添えるように努力した。予算に限りもあつたが、その意味で木材をふんだんに取り入れたつもりである。注文の多い建物でしたが誠心誠意をつくした。

入賞を期待

この賞は、ビルディング、コンストラクト、ソサイティ(B、C S)と呼ばれるもので、すぐれた建物である事はもちろん適正予算適正工期、それに建築主、設計者施工者の三者のチームワークが表彰の条件となる。

十八回目のコンクールになるが、今回は全国で十件の対象で、阿施設が見事金銭的を射とめてくれることを期待したい。

税務課だより

- 町、県民税の第一期納期限は六月三十日まで、納税通知書は六月十五日まで個人あてに送るの不明な点について税務課まで
- 自動車税の納期は六月三十日まで、不明な点については県税事務所へどうぞ。

北海道上川支庁から 町の行財政事情を視察

北海道上川支庁から、道庁の係を含めた一行八名が、去る五月二十五日本町の行財政事情視察のため訪れた。

席上、小玉総務部長から五城目町の行財政についてそのアウトラインを説明、それに対する質問と



この町に対する一行の感想は、はじめ役場庁舎を訪れたところあまりの古さにおどろいたが、受付の案内が非常に親切である事に感心した。

事務的に学ぶところが多く、予定された時間が惜しい程であった。

職業別の人口がほぼ等分なので施策のウエイトが置きにくいだろう人口からみて町三役の報酬が北海道より大分安い。

その点、町議会議員の方はアツプされている。

職員の給料については、ラスパイレの指数が低い事と、基本給の安い事に感じいった。しかしその割には職員がイキイキと仕事をしているのがあつた。どこに、ほめられたのか、皮肉られたのか答弁も笑いのうちに町民は幸せである。

なお意見交換のあと、町民センター、広域体育館を視察したが、これについては「この町の人々は幸せである」これが結論であった。

制度創立五十周年

民生委員ら記念植樹

森山公園に記念植樹

去る五月二十五日、民生委員制度創立五十周年を記念して、森山公園の樹木園に通ずる散策路入口に平戸、キリシマつつじなど四種二十二本の植樹した。

わが国で民生委員制度が設けられてから六十年、秋田県では五十年になつてゐる。

民生委員の前身は一九一七年(大正六年)ころから一部の県に設けられ、その後全国的に普及した「方面委員制度」であつた。第二次世界大戦後に、民生委員と名称をかへてゐる。

福祉推進の支え

本町の民生委員は四十九人で、県知事の推せんにより厚生大臣が

ら委嘱されている。自分の担当する地域の人たちが自立できるように手助けをするなど、無報酬にわゆる全くの社会奉仕で保護指導に当っている。

なお、現在社会福祉主事制が取り入れられたものの、児童、妊娠婦についても調査活動をするなど町の福祉施策をすすめる上で貴重な役割を果している。



記念植樹する民生委員のみなさん

五十二年度 早稲大学・大学院の入学式

笑う心をもった生きがい

去る五月二十六日午前十時から町民センターで昭和五十二年度早稲大学・同大学院の入学式が、〇九名の出席を得て盛大に行われた。入学生を代表して工藤文子さん(野田)は「ますます複雑な社会の中で自分たちの生きがいを持ち世の中についてゆける心を養いたい」と述べた。

つづいて早稲大学学長、同大学院長の加賀谷町長が、「現代に要求、期待される高令者の役割」と題して講話を行った。

心というものは人間の幸、不幸を左右する。

どんな苦しいときでもたえず笑顔を保ちたい。今年の町政カレンダーに石仏の写真を組んだ。無名の石工によるそれは大

へんすばらしい。石仏の表情は楽しそうに笑っている顔、やさしい顔などどんな風雨の中にも耐える力をもった顔で人間に多くの示唆を与えている。

ところで近代科学の進歩は多くの混乱を招いた。

おはよう野球

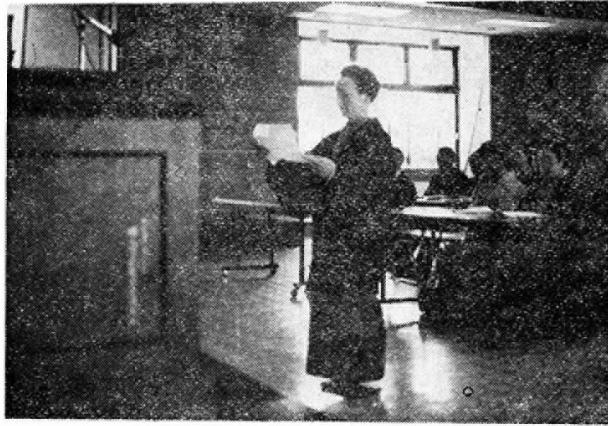
はじまる

去る五月二十一日午後六時半から町民センターで全県おはよう野球五城目地区予選の開会式が行われた。

野球キチたちには待ち遠しい限りであった。

ことしの参加チームは十八チームで昨年と同じであるが、各チームとも補強で力を充実しており、白熱した好試合が予想される。

入学生を代表して決意を述べる工藤さん



開会式では大手チームの小林君が、「おはよう野球の精神にのっとり、正々堂々と戦う」ことを誓った。

試合は三ブロックに分れ、一チーム五試合を行い、各ブロックから二チームの代表が出て決勝トーナメントを行い勝つ

まづ一は世の中の知識が極度に専門化したこと。
第二は分業化の促進で知識が固定化した。

第三は情報化の波でつくられた商品が多すぎる。

たとえば、かつては家を建てる場合大工さんが一人で設計し、施工管理したもののが、いまでは設計屋、工事業業者など専門化しているものと柔軟性が必要であることを強調した。

たチームが南秋予選に出場する。昨年の優勝チームはイーグルスことしの栄冠はいずれに……
対戦チームの日程はつぎの通りである。

大 手 6-15 農 協
イーグルス 8-11 エイト電機
信用金庫 17-10 杉 沢
アティーザン 3-19 球友会
秋田銀行 中止 朝 日
アルパトロス 7-7 コンドル
ファイヤーズ 1-4 ガラクターズ
警友会 6-1 タクシー
八鯉クラブ 4-1 あけぼの
大手 14-13 アティーザン

みんなの参加で

体育祭の成功を

来る六月十九日から内川地区を皮切りに町内各地区の体育祭が行われる。

この体育祭は四年に一度の全町体育祭を中に二年に一回開かれるもので、全町体育祭のミニ版ともいえる。

地区の住民が一堂に会して賑かに運動を通して心の輪を保つ願い

おとなの体力づくり

ギックリ腰予防と腰の強化

- ①両腕を腹のうえにのせたまま、ゆっくり腰を高く持ちあげる。ひざの曲げ方を浅くすれば効果バツグン十回からスタート
- ②両ヒザを曲げ、その足先を両手でもち、そのままゆっくりと両ひざを伸ばし、上体を深く前屈ひざ裏が痛むくらい前屈させ、5~10秒間とまる。



から出たものである。

皆さんの参加を心からお待ちしている。

各地区の開催予定はつぎの通りである。

・六月十九日 内川地区 内川小学校
・六月二十六日 馬川地区 馬川分館広場
・馬山地区 森山地区 五小グラウンド
・七月十七日 大川地区 大川小

・八月中旬 杉沢地区 杉沢小

・九月四日 富津内地区 末広
馬場目地区 馬小
五城目地区 五小

ドライバー体操の普及週間

車は私たちの生活にとって切り離せないものである。

は大へんなもので、ラッシュ時の場合はとくにイライラが生まれるこれを解消するため、ドライバーの皆さんに一分間でも体操をしていただき、イライラや運動不足にならないようにしたいものである。

職場、グループ、各種団体などで要望していただくと講師を派遣するので公民館(雲四四一一)館岡までどうぞ。

昭和五十二年

町民講座「家庭料理コース」の開催

家庭料理の実習を中心に、食料の知識や栄養知識などを学んでいただくもので、婦人を対象に行なう。

・期間

毎月第三土曜日

午後一時半~四時まで

(Aコース)

第四土曜日

午後一時半~四時まで

(Bコース)

・場所 町民センター生活改善室

(詳しくは坂谷まで)

◎視聴覚教材フィルムの活用を

このほど十六ミリ映写技師の資格認定試験が行われ、新しくつぎの三名が取得した。

・金野 鉄男(消防署)

・伊藤 満()

・佐藤与志美()

みなさんの地域や職場で活用される場合には、教材用フィルムの貸出しをやっているので併せて映写技師も活用していただきたい。詳しくは公民館(雲四四一一)石川まで

陶芸教室へどうぞ

ことしも町民講座の一つとして陶芸教室(楽焼き)を実施する。

・期日 六月二十三日午前九時半から

・場所 広域体育館

・会費 五百円(当日持参)

・用具 エプロン前かけ

・申込 町民であれば誰れでも申込める。定員二十名まで。

直接公民館相原へ申込んでいた

秋田県自然保護課では、去る五月十日から始まった「愛鳥週間」にちなんで、十二日この森で「愛鳥実習会」を開いた。

当日は、秋田市の千秋学園や五城目第一中学校、それに県猟友会と東洋猟友会員（五城目、八郎湯井川）など千人を超える参加者でそれぞれ巣箱かけ、探鳥会植樹などを行った。

始めはバードデー

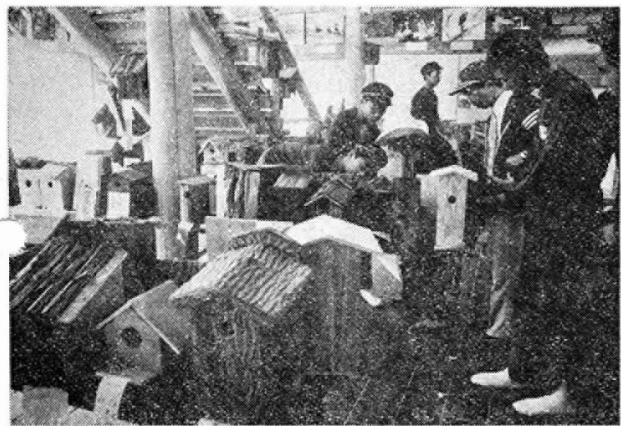
愛鳥運動は、昭和二十二年から始められたもので、当日は四月十日一日だけの「バード・デー」であった。しかし行事をすすめて行く過程で、寒い地方では早すぎるのがわかった。そのため二十五年からは五月十日に変更され、一週間の愛鳥週間となっている。

愛鳥週間の目的は、害虫をとらえて農作物や動物の生育を助け、また人の心をなぐさめ、楽しませてくれる小鳥を愛し保護しようとするところにある。

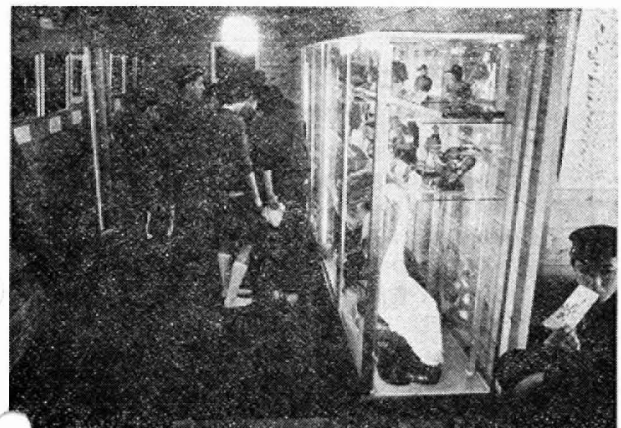
具体的な行事としては、このたび県の鳥獣保護センターで行ったような、小、中学生を対象にポスター、巣箱や巣台を募集展示したり、鳥の声を聞く会など、全国的な規模で行われている。



上で巣箱を取り付ける人
杉の枯れ枝でそれを支える人



立派な巣箱に感心する人々



見なれぬ鳥のハクセイに人足は多い

愛鳥行事でいこいの森賑わう



探鳥コースを復習する人 太陽に向って腹をみせる人



猟友会員による植樹。ナナカマド、ナツハセ30本

←左 県内の小中学生のポスター。オレも来年は～出品するか。ン、やめよかなア

←右 オレの水冷たくてうまいんだ。シラバー一杯飲んでやつか。

水道週間

水は生活のはじまり

六月一日～七日まで

健康を守り、生活を豊かにする

くむ水道は、一日も休むことなく活動を続けている。この清浄な水を豊富に供給する水道を考え、理解と関心を高め、健全な発展を図る国民的な運動——これが「水道週間」で、今年は十九回目である

水道器具は完全か

この冬の異状寒波で各所に水道の故障が発生した。凍止めや蛇口が不完全で無駄な「カケ流し」や漏水で思いがけない負担、損失等が見受けられた。早目に完全な工事をして、安心して生活出来るようもう一度給水装置を確めてほしい。

蛇口は衛生的に洗たく機、ふん水池、掃除道具等に見受けられる。水道の故障、断水などの場合、汚水がホースを伝わり蛇口から水道管へ逆もどりに大変なことになる。附近一帯の伝染病の発生源になったりする場合もあるのぜひ止めていただきたい。

一般家庭の水の利用状況

水道は、利用する人からの料金で建設し、そのお金で経営している。そのため、水道の建設単価や水のコストの上昇にもなっている。水道料金の改定がなされる。水道事業体ごとに料金の差があるが水道料金が各家計支出に占める割合は全国平均で約〇・五％である。五城目町上水道の昨年度実績一ヶ月平均は別表のとおりである。

「年金」「健康保険証」「老人医療費受給者証」「印かん」を持参の上必ず手続きをしていただきたい。この手続きをしないと九ヶ月の支払分の年金がうけられない。また医療費は七月から自己負担になるのでご注意ください。

日程はつぎのとおりである。

6月13日(月)

・帝釈寺・町村・門前・蓬内台・寺庭
中村・小野台・平ノ下・水沢
前9時30分～前11時
馬場目児童館

6月14日(火)

・恋地・坊井地 前11時30分～正午
恋地部落公民館
・杉沢・合地 後1時～後3時
杉沢公民館

6月15日(水)

・大川地区 前9時30分～正午
大川出張所
・野田・岡本・浦横町 後1時30分～後4時
森山分館

6月16日(木)

・下山内・上山内・富田・八田・台御
蔵下・小倉・黒土 9時30分～正午
富津内児童館

6月17日(金)

・湯ノ又・小川口・浅見内 前9時30分～後3時
内川児童館
・五城目地区・岩城町・樋口 前9時～後4時
役場第三会議室

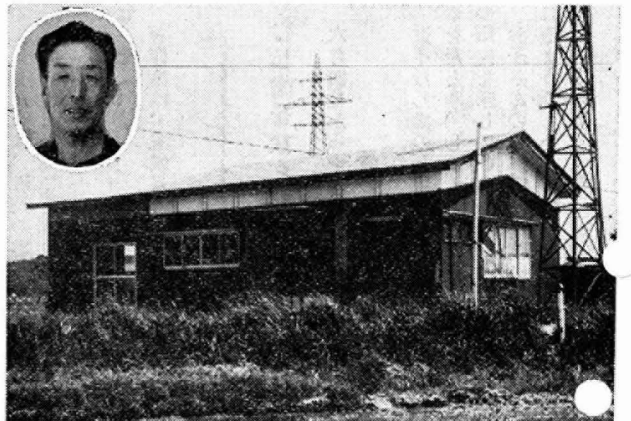
6月18日(土)

・馬川地区 前9時～正午
馬川分館

福祉年金受給者、老人医療費受給者は届け出を(定時届)

・六月十三日から各地区で
福祉年金の受給者(老齢、障害母子)と、老人医療費受給者の方は毎年六月中に届け出をすることになっている。

今年も各地区ごとに次の日程で受付するので、該当者は、「国民



谷地中公民館に高令者集会室完成

このほど谷地中部部落の公民館に高令者集会室が完成し31日竣工式を行った。この集会室は総工費90万円のうち70万円を部落民(51世帯、部落長佐藤金一郎さん)みんなでお金を出し合い、これに町から20万円の補助を得て完成した地区の高令者たちはおお喜びで、ひまをみては自分たちの部落の完成を喜び、語りあっている。佐藤部落長は、「部落の高令者にとってこのうえない贈りものである。また、町からの補助をえて大へんよかった。また一つ部落の施設がお目見えし、部落民互いの連絡が密になった。」と語っていた。(円内は佐藤部落長)

保険料を

納められない方は

免除の手続きを

国民年金の加入者で、保険料を納めたくても、家計が苦しい人や失業や災害などで納められない場合は保険料が免除される。

該当者は、福祉年金の定時届と同じ日程で申請を交付するので、手続きをしてほしい。

なおこれは申請に基づいて、本人や家族の所得の状況などによって認められるものである。免除を認められた者は、後で生活に余裕ができたときに、免除された期間を十年前までさかのぼって保険料を納めることができる。

万一都合でこの日程に申請できない人は六月末までに役場住民課窓口において願いたい。

明るい選挙を標語で呼びかける

◎小学校

・正しい選挙で住み良い郷土
・よい選挙ばいしゅうしません
・正し選挙ばいしゅうしません
・中条 昌子(五小)
・正し選挙ばいしゅうしません
・村井 清美(五小)

・純白の心でつくる明るい政治
・石井 富子(五小)
・まちがうなよれた選挙はみんなの不幸
・三村 義博(五小)
◎一般
・人情と義理に負けるな一票
・鍋谷フクエ(商業)
・明正を心に誓う白いバラ
・藤原 フミ(主婦)
・私利私欲捨てた一票明るい我が家
・鷲谷 直征(公務員)
・町政と住民のパイプの一票
・佐藤 貞(主婦)
・ルールを守り子等に恥ないこの一票
・佐藤 貞(主婦)

△戸籍シリーズ▽

戸籍に記載される事項について

問い：戸籍にはどんな事項が記載されますか。

回答：戸籍には、各人を特定する事項として氏名、出生年月日、父母の氏名、父母との続柄が記載されています。また、身分事項として出生、認知、婚姻、離婚、養子縁組、養子離縁、死亡、失踪、親権、後見、相続人の廃除、姻族関係の終了、日本国籍の得喪などのほか、氏や名の変更事項が記載されます。



おしらせ

花いっぱい運動で

明るい町づくり

草花苗の預託銀行提唱

五城目町と同教育委員では、今年もまた「花いっぱい運動」で、明るい町づくりをめざしているが町内小中学校をはじめ各種団体ならびに職場などたくさんの方の参加を呼びかけている。

運動の主な内容は次のとおりである。

①草花苗の銀行提唱について

各家庭、団体、グループなどで育てた余分な苗を寄託していただき、花いっぱいできれいな町づくりの輪を広げたいものである。

②草花苗の申込みについて

六月四日まで

献血功勞に

小玉さん等六人

このほど日本赤十字社から献血功勞の証書が次の方々におくられた。

・湯ノ又 小玉玉男、沢田石栄一
・畑沢政郎

部落町内の子ども会、青年会、婦人会、老人クラブ、部落町内会、学校、職場に対して三種類(サルビア・マリゴールド・ペコニア)を一団体、グループにおおむね二百本程度と各家庭、団体、グループなどから寄託していただいた花の苗をも合せて六月中旬に無料配付したい。

花の苗を希望する団体、グループは六月四日(土)まで五城目町公民館(五城目上樋口字堂社75)へ別紙申込書により申し込んでほしい。

配付した花の苗だけでなく団体グループも独自に町内、部落内から花苗の寄託を受けることもよい。

みんなで育てよう

木材の町へ標語募集

六月二十五日当日消印有効

町では地場産業である林業をはじめ木材工業に對して、いろいろな補助事業の導入をはかりながら本格的な「木材の町づくり」に取り組んでいるが、ひとり森林所有者や業界、行政側だけが力んでもこれを支える消費者が無関心では意味をなさない。

町では地場産業育成に町内のみならず建設的な意味で関心を持っていただく。その製品に愛着をもつていただく。そして町内の木材製品に誇りを持つようになりていきたいものだ。産業の振興はその地元民の支援なくして達成されないことは今さら書き述べるまでもないが、産業の振興は人を集めるの集まりは町の発展を促す要素を持つている。

町民の発展が個人的な生活のくらし易さにつながることを思えば、私たちは今少し、地元産業の見直しが必要なのである。

このような背景のもとに町では「五城目林業と五城目木材工業総合産地化を育てる標語」を次の要領で募集することになった。町内

のみなさんから多くさんの作品を

期待している。

◎(例)造スギも長大材の節なしは、目を細められて需要伸び。

一、募集主体

五城目町、五城目町木材工業総合産地化推進協議会、五城目町中核林業推進協議会

二、応募対象者

五城目町在住の者で年令、職業等の制限ありません。

三、締切り期日

昭和五十二年六月二十五日

四、応募方法

応募者一人一点に限るものとし官製はがきによって五城目町企画部企画課へ郵送すること。

五、賞

①入選二点以内 賞状及び副賞
②佳作三点以内
③審査等

①応募締切り後十日以内に審査会を開いて決定する。
②審査委員会は、町長の委嘱する委員で構成し、町長が委員長となる。

七、その他

著作権は、五城目町に属する。

むし歯をなくしましょう

六月四日から十日までは

歯の衛生週間です

近年むし歯の患者は増加の一途をたどり、しかも年々低年齢化の傾向を示しています。

お子さんの口が常に清潔に保たれるよう正しい歯口清掃の習慣をつけ実践しましょう。

「健康で明るい毎日」

まず定期検診で

ことしは次の日程により循環器検診を実施するので、この機会に是非受診されるようおすすめしたい。

日時および場所

六月七日(火)
大川一四区、下樋口
午前九時～十時半
大川出張所
曙町、石崎、四ツ屋
午後一時～二時半
石崎公民館
六月八日(水)
西野 午前九時～十時半
谷地中 午後一時～二時半
谷地中公民館
六月九日(木)
帝釈寺、町村、門前
午前九時～十時半
町村公民館
高崎、久保、館越
午後一時～二時半
馬川公民館
六月十日(金)
中村、寺庭 午前九時～十時半
中村公民館
蓬内台、小野台、平ノ下、水沢
午後一時～二時半
馬場目児童館

誕生おめでとう

ごさいます

馬場目落合 金沢 聡 4、15
重勝 ユキ子 3男
富津内落合 伊藤 牧子 4、20
美智子 長女
湯ノ又 小玉 浩幸 4、21
英己 達子 長男
新堀町 荒川奈美子 4、21
誠 瑞江 長女
中川原 村上 善信 4、24
昭雄 サキ子 2男
紀久栄町 石井 信好 4、29
次男 芳子 2男
湯ノ又 小玉 貴臣 5、4
都夫 俊子 長男
下山内 小林 範大 5、5
信一 えり子 長男
野田 工藤江里子 5、8
鎮雄 ひろ 二女
古川町 笹尾 千草 5、9
知 恭子

歩積両建てでお困りの方へ

(金融機関から融資を受ける皆様)

大蔵省では、金融機関に対し、歩積両建て預金の自粛(とくに「にらみ預金」の解消)について指導している。金融機関が、融資をう

ける方の預金を拘束しようとする場合は、必ず、拘束預金としての正規の手続をとるとともに、貸出金利を引下げなければならない。したがって、融資を受けている方の手元に預金証書がある場合は、原則として拘束性預金とならないので、満期日以降自由に払戻ができる。

歩積両建て預金の問題でお困りの方は、東北財務局秋田財務部に相談願いたい。

東北財務局秋田財務部
秋田市山玉七丁目一番三番
秋田合同庁舎
電話一八八六二四一九一